

講座 5 臨床催眠法—初級・2—

講座の内容等：

臨床催眠法とは、催眠を心理臨床や医療、対人援助の場で活用するその考え方と方法を指します。現在の心理療法のその最初は、催眠から生まれたといっても過言ではありません。18 世紀末のアントン・メスメルによる催眠を使った治療法から今日の臨床催眠法へと発展した一方で、その催眠はフロイトの自由連想法や自律訓練法を生み出し、行動療法や心理劇等々の心理療法の展開に寄与してきました。

催眠の中核は、無意識活動にあります。催眠で、「自然に手が挙がっていく」と暗示されると、いつのまにか手が実際に挙がっていくのは、その人が意識活動ではなく無意識活動を主とした活動を用いて自ら手を挙げているからです。無意識活動であるゆえに、意識はなされないわけです。

催眠は他者からかけられるもので主体がなくなる現象といった誤解がありますが、催眠現象はその人自身が主体的に催眠活動をしなくても起こらないものです。臨床催眠法では、多くの場合、無意識活動と意識活動が同時存在している催眠現象のもとで援助を行っていきますので、自分の無意識活動を自覚的に体験することができます。これは、セラピストにとってもなかなかおもしろい体験となります。

本講座では、初級編として、催眠技法実習による催眠体験と心理療法における催眠の意義を探ることを中心に行います。ご一緒に、催眠を楽しみたいと思います。

講 師： 鶴 光代 (跡見学園女子大学 文学部)

日 時： 平成 22 年 4 月 25 日 (日) 10:30~17:30

場 所： 文京区本郷 2-40-14 山崎ビル 601 号室

参加資格： 臨床心理士・大学院生 定員 20 名

参加費： 社)日本臨床心理士会会員及び大学院生 7,000 円
その他 8,000 円

ポイント： 2

申し込み方法：①および②をお願いします。

①週日 10:00~17:00 に電話で空席の有無をご確認の上、予約してください。

電話番号：03-3817-6801 事務局

②郵便局の振り込み用紙に、以下の各項目を全て記載して、参加費(会員・大学院生 7,000 円、その他 8,000 円を振り込んでください。

(なお、キャンセルはできませんのでご了承ください。)

- 講座番号 5 講座名 「臨床催眠法—初級・2—」
- ご氏名・臨床心理士番号・連絡先電話番号・ご所属
- 口座番号 00110-7-413679
- 口座名称 一般社団法人日本臨床心理士会